



2016年度 国内情報セキュリティ市場調査

速報(2017年 1月23日時点)

**JNSA調査研究部会
セキュリティ市場調査WG**

市場区分の定義



セキュリティツール	統合型アプライアンス	FW、IDS、ウイルス対策等複数機能を持ったアプライアンス
	ネットワーク脅威対策製品	FW、IDS/IPS、VPN、アプリケーションファイアウォール
	コンテンツセキュリティ対策製品	ウイルス対策、スパム対策、URLフィルタ、メールフィルタ、DLP等
	アイデンティティ・アクセス管理製品	認証、ログオン管理・アクセス許可、PKI製品
	システムセキュリティ管理製品	セキュリティ情報統合管理、ポリシー・アクティビティ管理ツール、脆弱性検査ツール 等
	暗号製品	暗号化製品、暗号モジュール
セキュリティサービス	情報セキュリティコンサルティング	ポリシー構築、監査・診断等セキュリティ管理全般コンサルティング、規格認証取得支援サービス
	セキュアシステム構築サービス	ITセキュリティの設計、導入、製品選定支援 等
	セキュリティ運用・管理サービス	マネージドサービス(ITセキュリティの監視、運用支援)、プロフェッショナルサービス、電子認証サービス 等
	情報セキュリティ教育	教育実施、コンテンツ提供、教育ASP、資格認定 等
	情報セキュリティ保険	情報セキュリティおよびITセキュリティ保険

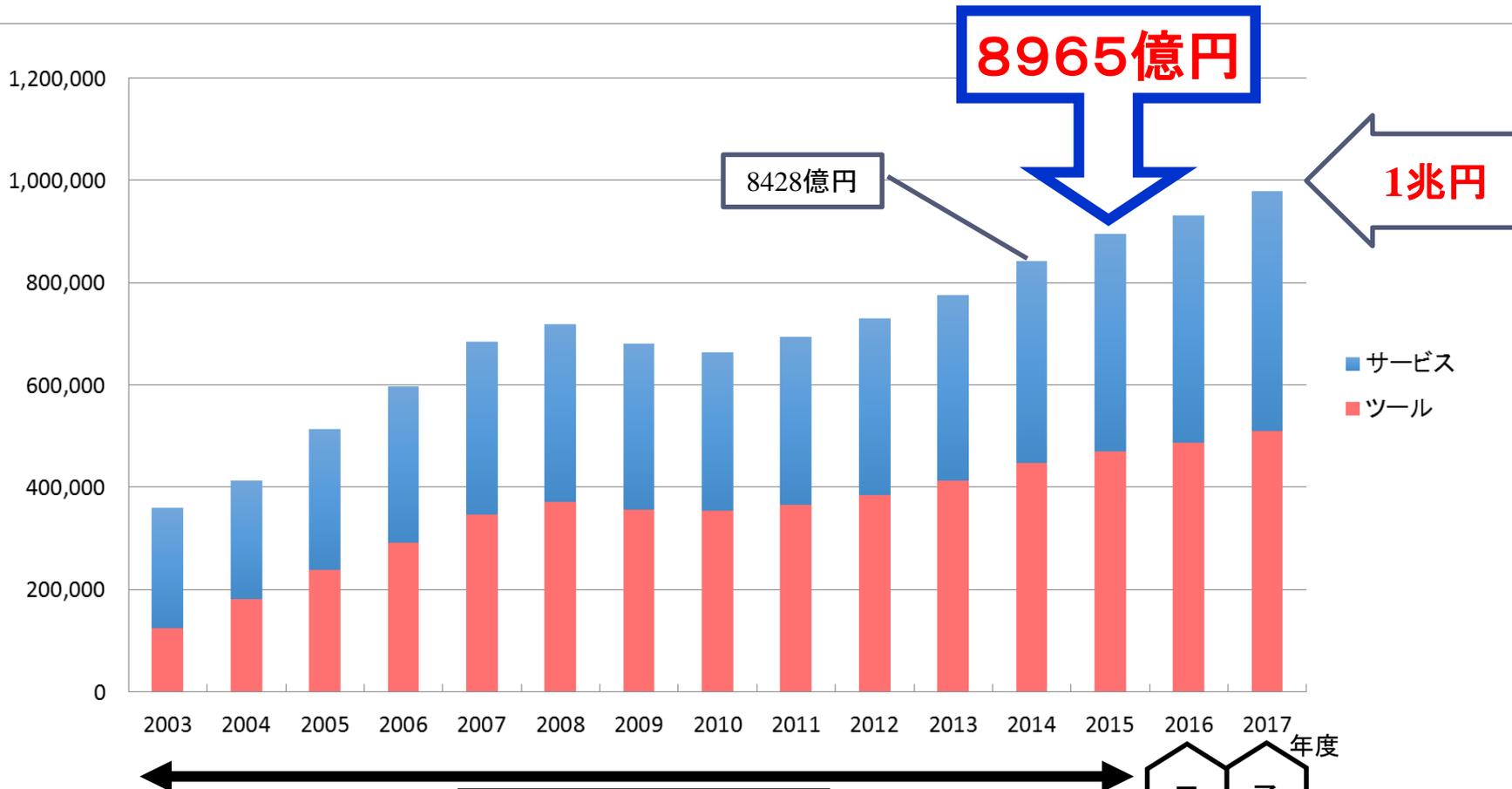
業態区分の定義

- A: 海外メーカーまたはその日本法人
- B: 国内のセキュリティツールメーカー
- C: 販売店・商社等主として流通機能の企業
- D: SI・NI※機能を有する二次・三次販売店
- E: SIが主たる付加価値の大手システムインテグレータ
- F: コンサルティング企業
- G: セキュリティサービス提供事業者
- H: その他

※NI: Network Integration, ネットワーク構築

JNSAの情報セキュリティ市場調査推移

百万円



売上高実績推定値

見込み
予想値

昨年2015年度は前年比9.2%伸びて9202億円と予想していたが今調査で2015年度は前年比6.4%伸び8965億円に達したと推定
 同2016年度は前年比4.0%増の9327億円となり、2017年度は成長率の盛り返しを見込み前年比5.0% 9795億円と予測
 2016年度・2017年度に現在の予測よりも積極的なセキュリティ投資が進む場合は、2017年度の市場規模は1兆円に達する可能性もある。

国内情報セキュリティ市場規模の暫定値

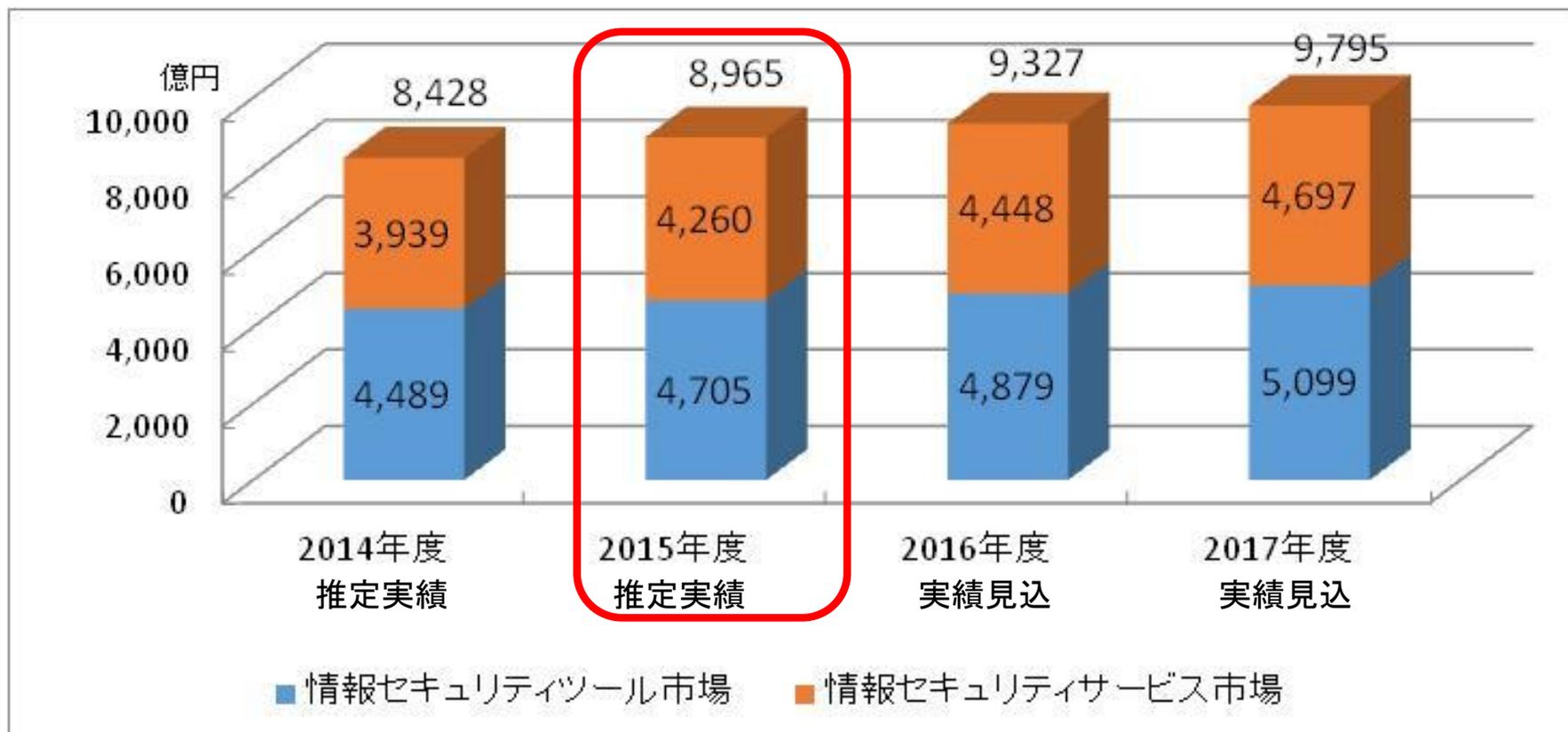


年度別売上高推計値	2014年度		2015年度			2016年度			2017年度		
セキュリティ・ツール	売上実績推定値		売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値		
	金額	構成比	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率
統合型アプライアンス	23,622	5.3%	23,280	4.9%	-1.4%	23,746	4.9%	2.0%	24,933	4.9%	5.0%
ネットワーク脅威対策製品	61,776	13.8%	64,382	13.7%	4.2%	66,958	13.7%	4.0%	70,305	13.8%	5.0%
コンテンツセキュリティ対策製品	171,192	38.1%	176,689	37.6%	3.2%	180,195	36.9%	2.0%	186,214	36.5%	3.3%
アイデンティティ・アクセス管理製品	77,220	17.2%	84,323	17.9%	9.2%	88,539	18.1%	5.0%	92,966	18.2%	5.0%
システムセキュリティ管理製品	66,288	14.8%	70,178	14.9%	5.9%	73,687	15.1%	5.0%	77,371	15.2%	5.0%
暗号化製品	48,844	10.9%	51,688	11.0%	5.8%	54,789	11.2%	6.0%	58,076	11.4%	6.0%
セキュリティツール市場合計	448,941	53.3%	470,540	52.5%	4.8%	487,913	52.3%	3.7%	509,866	52.1%	4.5%

年度別売上高推計値	2014年度		2015年度			2016年度			2017年度		
セキュリティ・サービス	売上実績推定値		売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値		
	金額	構成比	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率
情報セキュリティコンサルテーション	71,452	18.1%	80,611	18.9%	12.8%	83,030	18.7%	3.0%	87,181	18.6%	5.0%
セキュアシステム構築サービス	156,356	39.7%	132,280	31.1%	-15.4%	138,894	31.2%	5.0%	145,838	31.1%	5.0%
セキュリティ運用・管理サービス	125,248	31.8%	174,247	40.9%	39.1%	181,217	40.7%	4.0%	190,278	40.5%	5.0%
情報セキュリティ教育	30,365	7.7%	27,052	6.4%	-10.9%	28,094	6.3%	3.9%	30,804	6.6%	9.6%
情報セキュリティ保険	10,479	2.7%	11,777	2.8%	12.4%	13,543	3.0%	15.0%	15,575	3.3%	15.0%
セキュリティサービス市場合計	393,901	46.7%	425,967	47.5%	8.1%	444,778	47.7%	4.4%	469,677	47.9%	5.6%

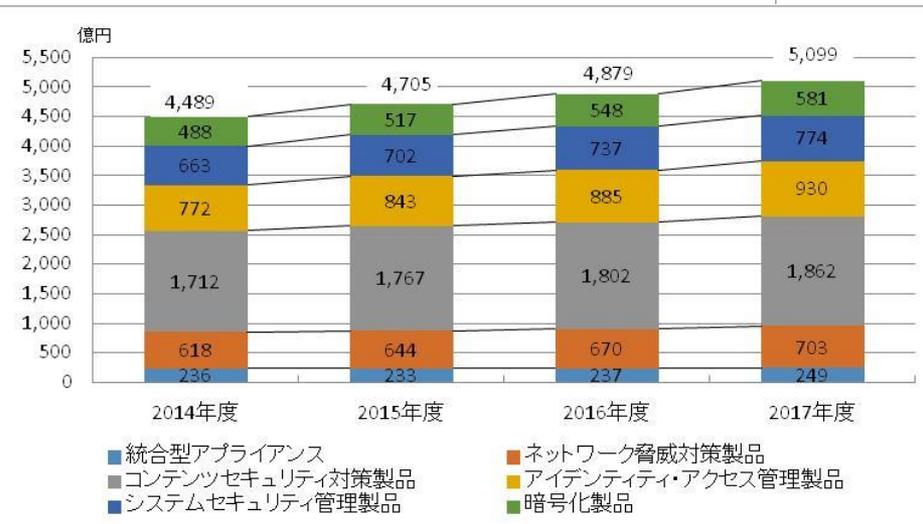
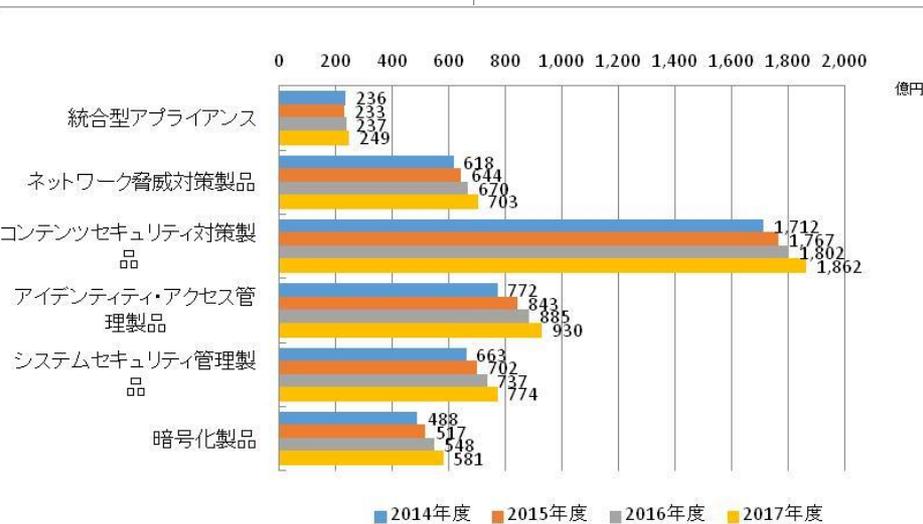
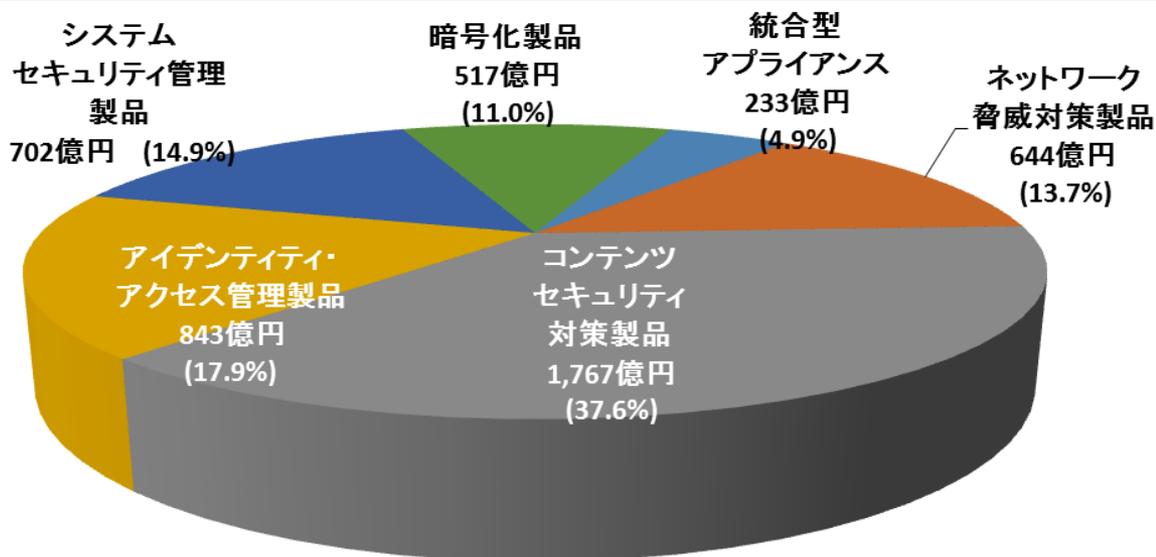
セキュリティツール+サービス	842,841	100.0%	896,507	100.0%	6.4%	932,692	100.0%	4.0%	979,543	100.0%	5.0%
----------------	---------	--------	---------	--------	------	---------	--------	------	---------	--------	------

国内情報セキュリティ市場規模の暫定値

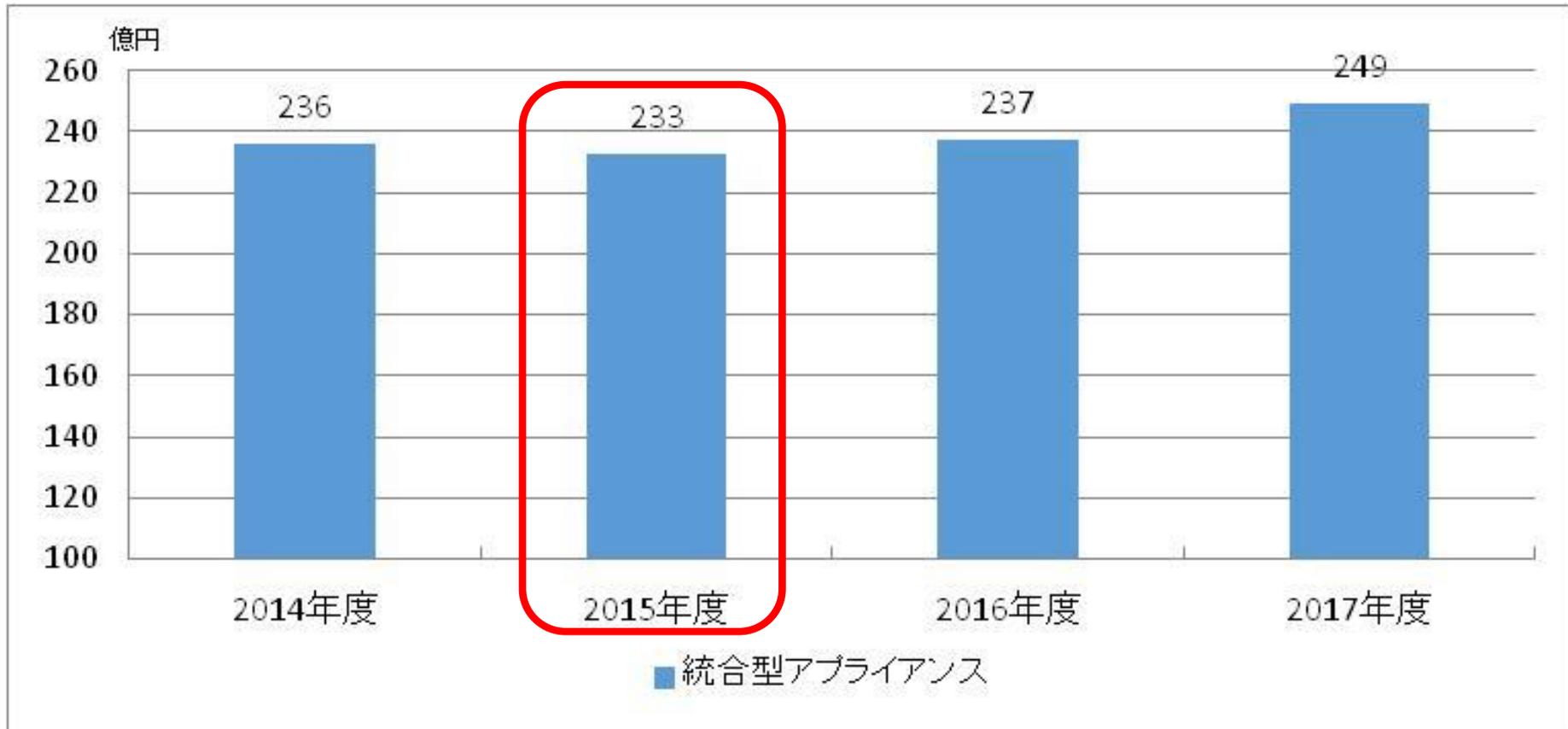


情報セキュリティ市場の2015年度の推定実績値は、全体で前年比6.4%伸びとなり、8,965億円
うち ツールが52.5%で 4,705億円、 サービスが47.5% 4,260億円 と推定

国内情報セキュリティツール市場推移



ツール全体で前年比4.8%の伸び。アイデンティティ・アクセス管理製品は参入企業が絞られつつも前年比9.2%の顕著な伸び。

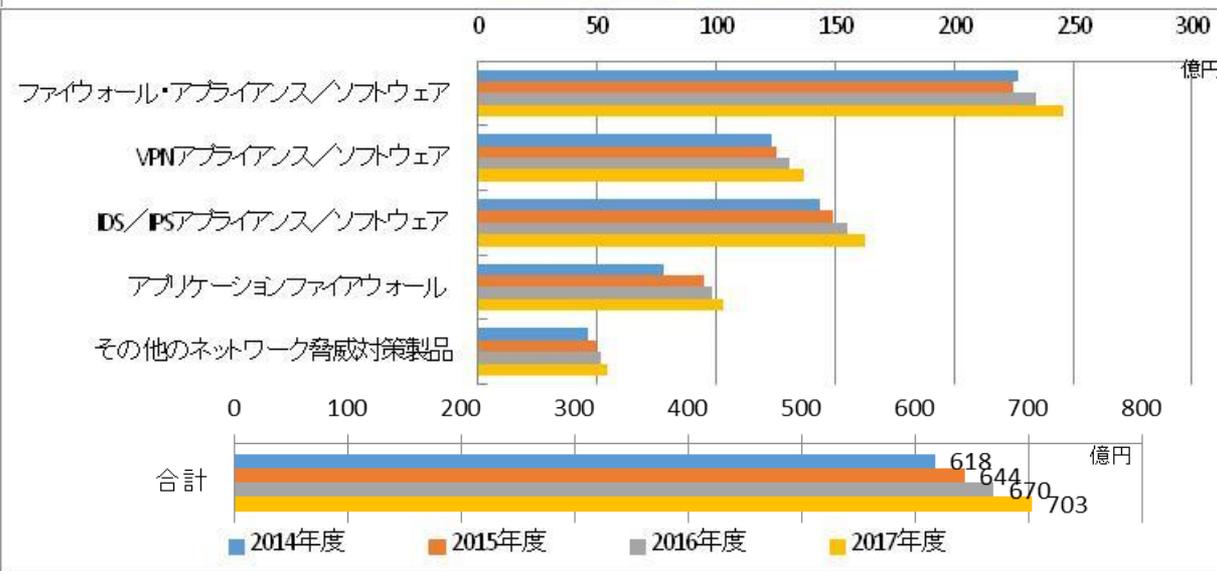
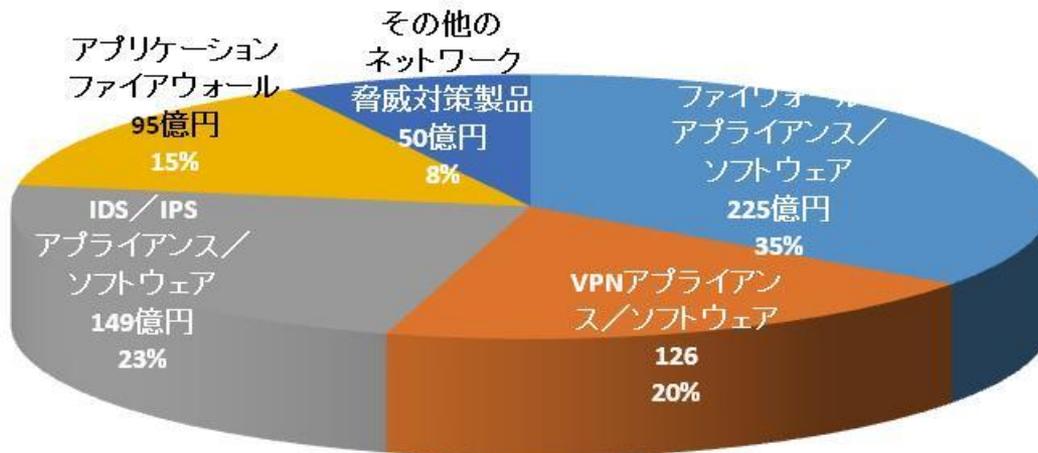


- いわゆるUTM製品が中心となるこのカテゴリは、普及もかなり進み、成熟しつつある市場
- 攻撃手法の多様化により、サンドボックスエミュレーション技術などを使った非シグネチャ型マルウェア対策アプライアンス製品への需要も高まっていると推測される
- 2015年は若干縮小(-1.4%)したものの、2016年以降は、再び伸びに転じると推測される

ネットワーク脅威対策製品

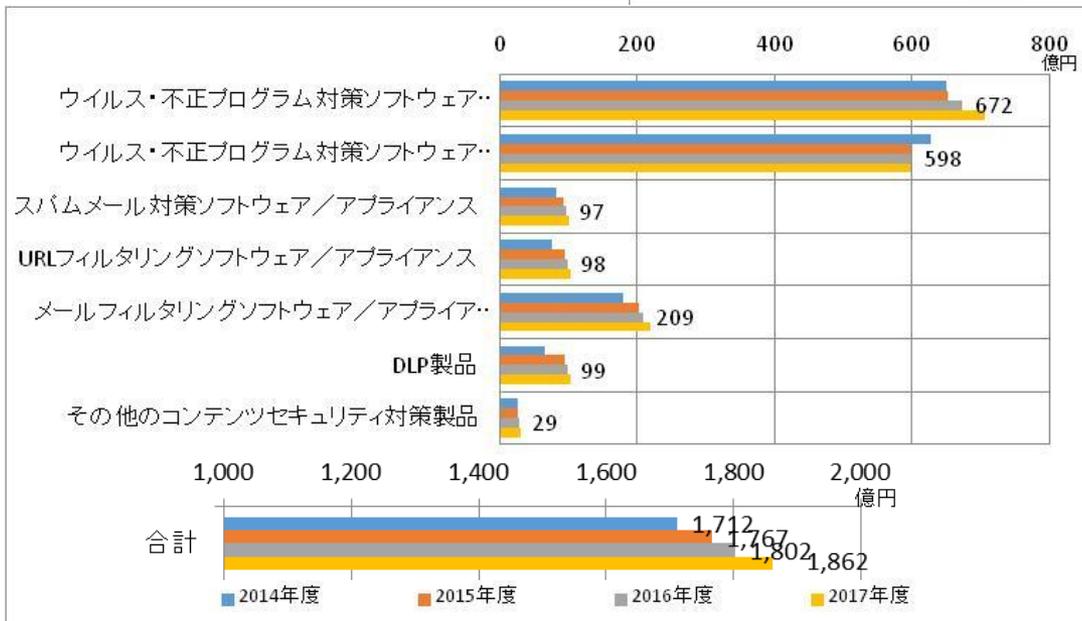
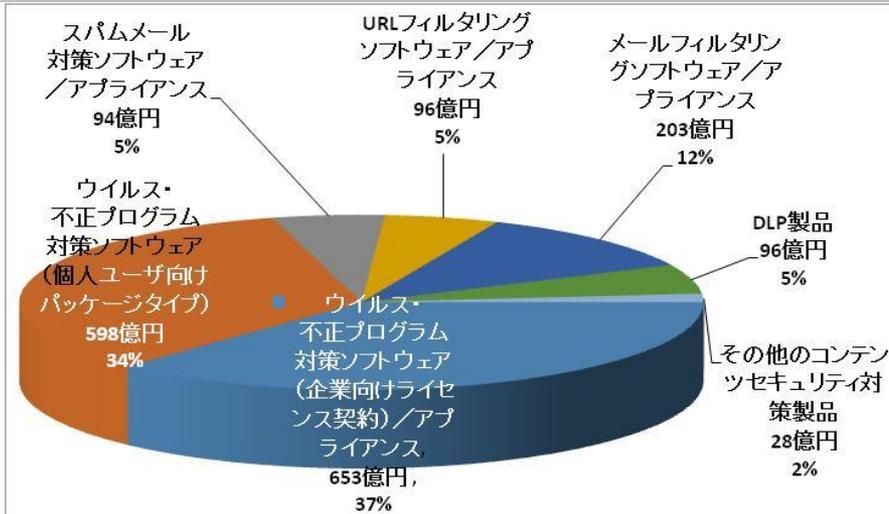
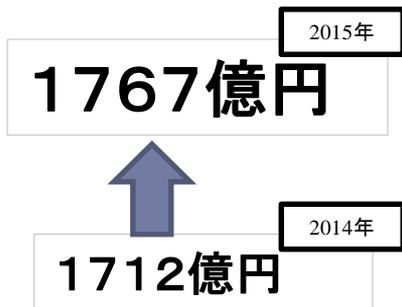
2015年
644億円

↑
2014年
618億円

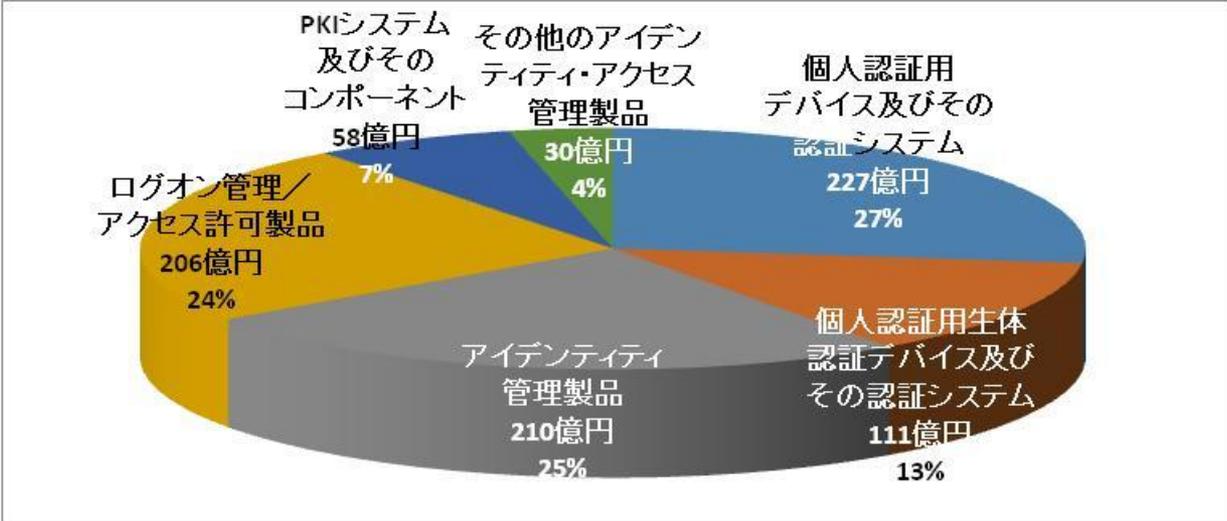


- 2015年度のネットワーク脅威対策製品全体では4.2%伸びて644億円
- Web改ざんやマルウェアの仕込み(水のみ場攻撃等)の脅威対策としてアプリケーションFWの伸びが顕著

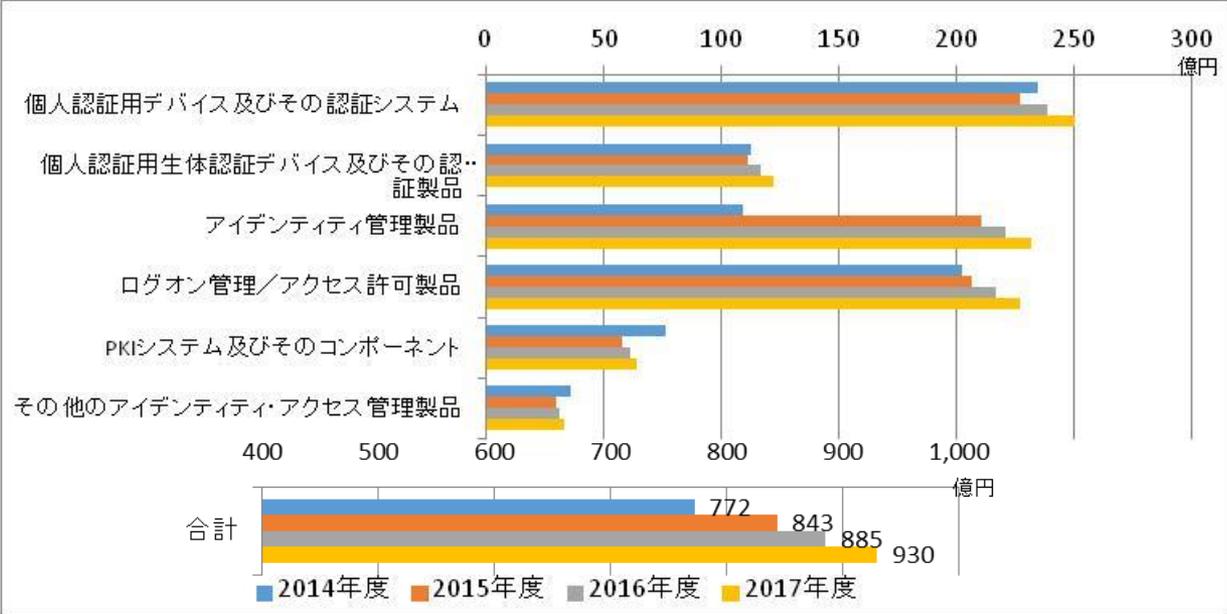
コンテンツセキュリティ対策製品



- ウイルス対策ツールは、法人向けと個人向けが各々600億円前後と大きな市場を形成して来たが、企業向けが伸び、個人向けは減少している。
- 更新等による安定した需要に支えられ、マルウェア等の脅威対策が多様化し、全体として2016,2017年度も伸びが続くと考えられる。
- スマートデバイス・クラウド対応により、ビジネス自体がサービスへのシフトする傾向も注視していく。



•2015年度のアイデンティティ・アクセス管理製品全体では9.2%伸びて843億円

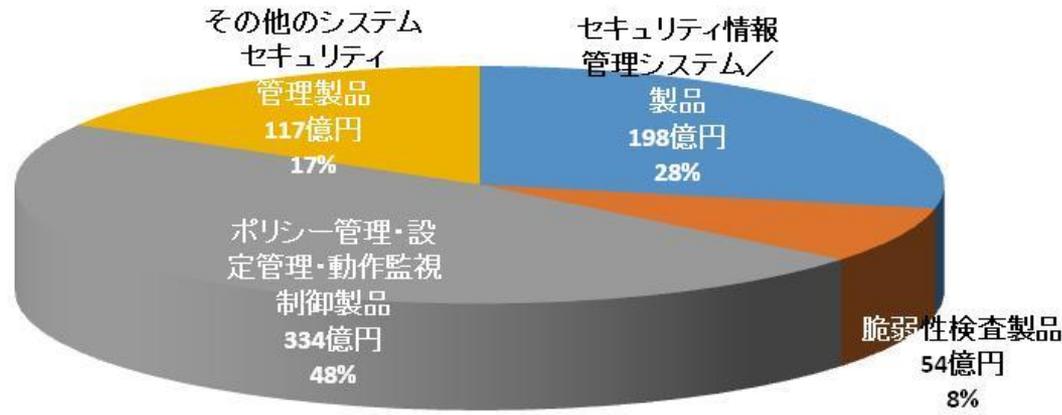


システムセキュリティ管理製品

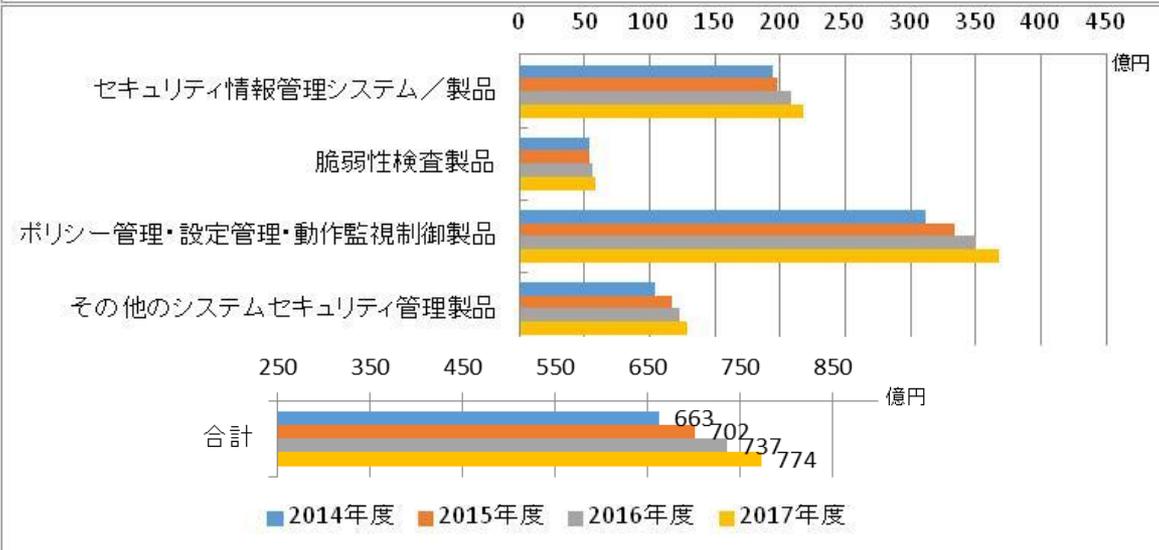
2015年
702億円

↑

2014年
663億円



- ・前年度に対して5.9%の高い伸びを示し、2015年度は702億円の規模となったと推測する
- ・標的型攻撃への対策として、内部ネットワークトラフィックの異常を常時監視する「セキュリティ情報管理システム」の需要が大きい
- ・端末のポリシーや動作を監視・管理する「ポリシー管理・設定管理・動作監視制御製品」はモバイルデバイス対策もあって需要が拡大



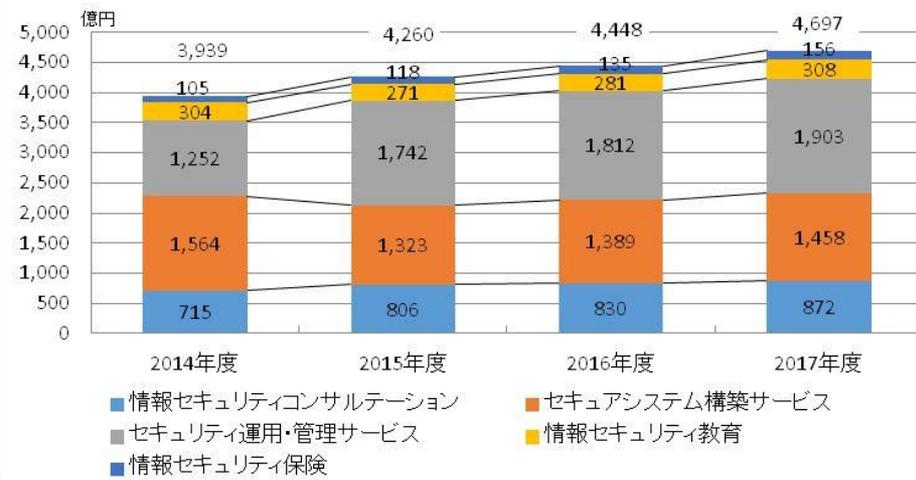
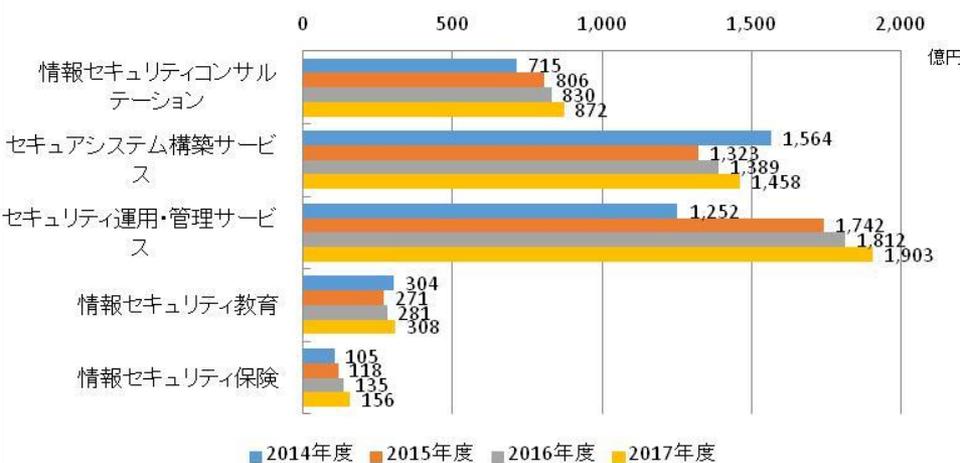
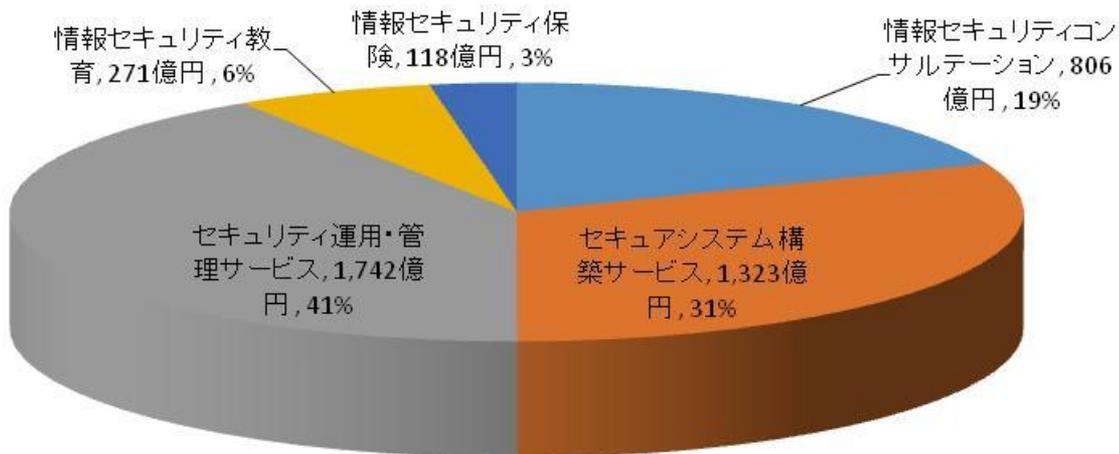


- 前年度に対して、5.8%増の517億円
- クラウドの利用浸透も需要拡大要因と予想
- 情報漏えい対策、知的財産保護対策、標的型攻撃の出口対策も、需要を押し上げる要素

情報セキュリティサービス市場推移

2015年
4260億円

2014年
3939億円



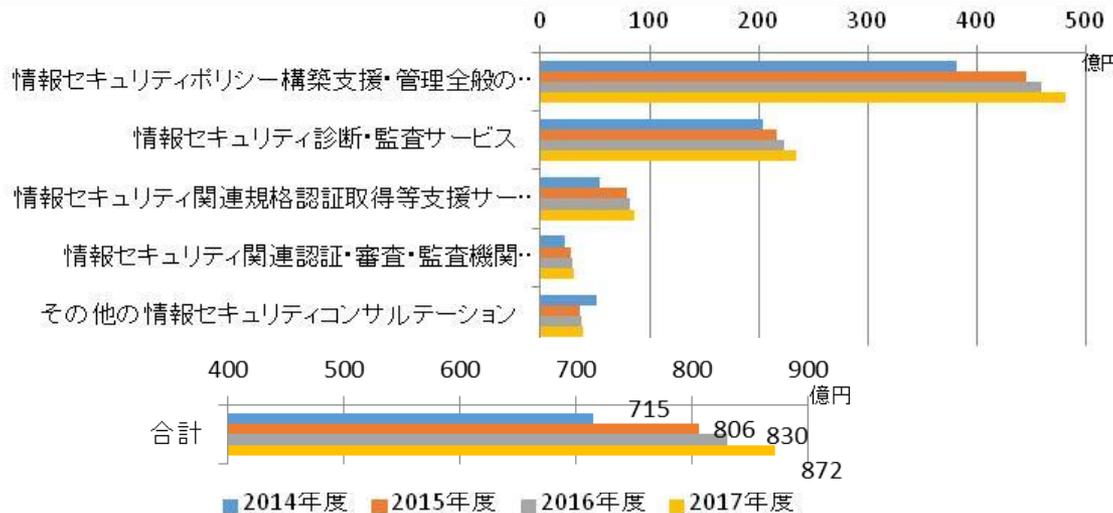
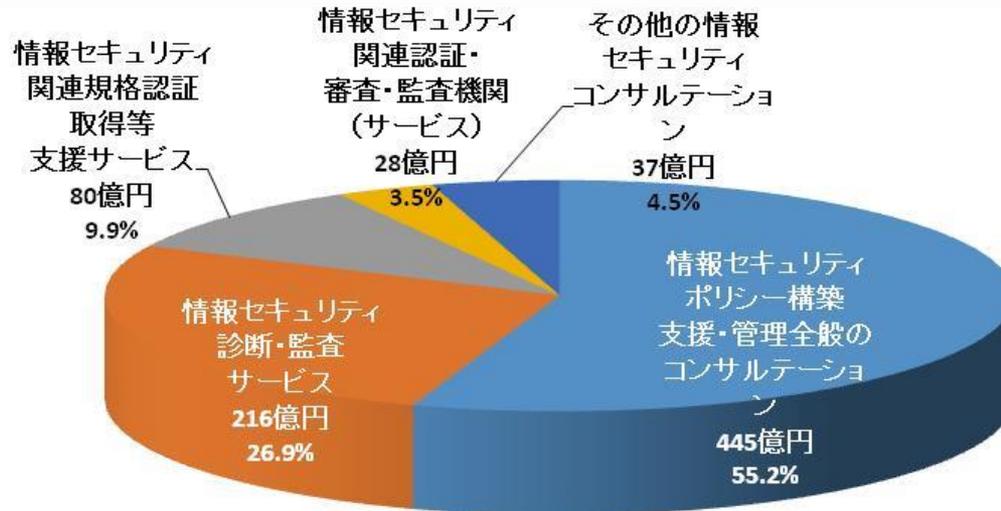
- ・ サービス全体で、前年から8.1%伸び4260億円
- ・ 標的型攻撃対策、統合ログ管理などの需要増もあり、セキュリティ運用・管理サービスが前年度比39.1%増と高い伸び

情報セキュリティコンサルテーション **JNSA**

2015年
806億円



2014年
715億円



•2014年減少の反動で伸び率が前年度比12.8%増となり、806億円に

•2016年以降は、企業内のCSIRT・SOC等の導入支援に対するコンサルテーションの需要が伸びると予想

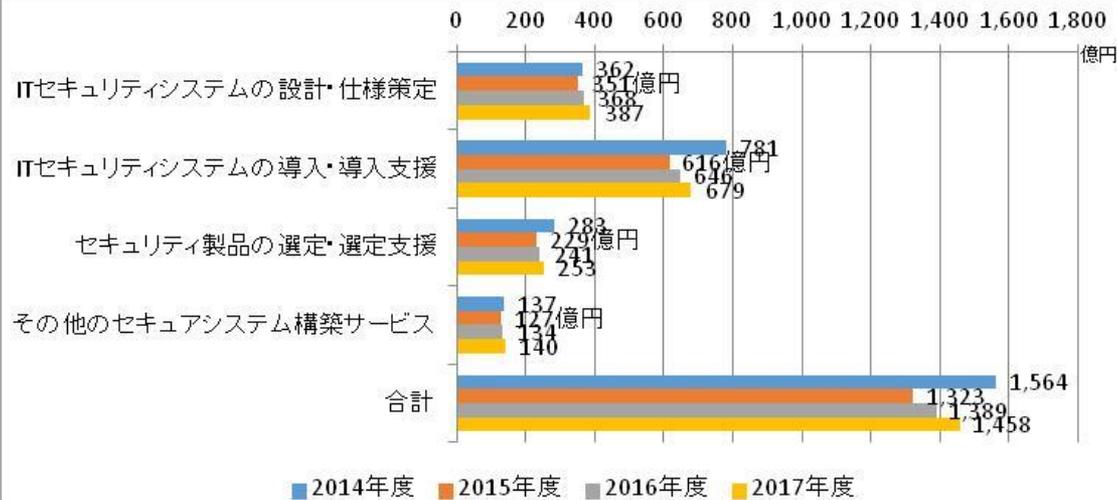
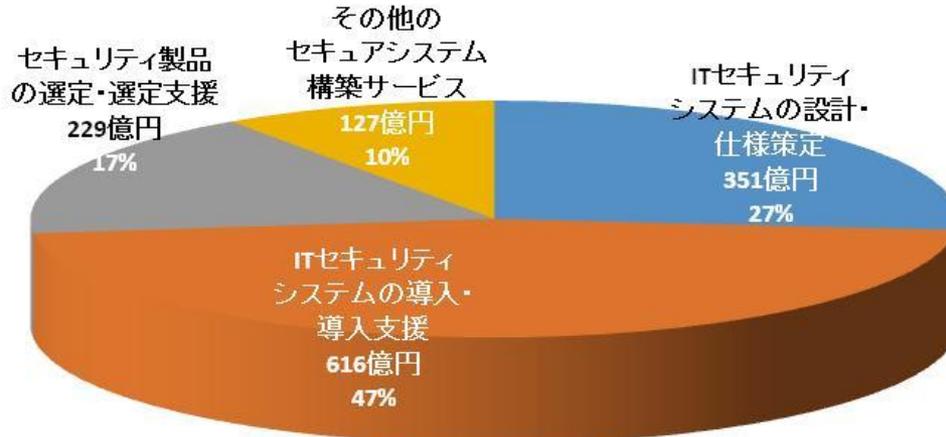
•従来のセキュリティ対策に対する見直し需要から、診断が堅調

セキュアシステム構築サービス

2015年
1323億円

2014年
1564億円

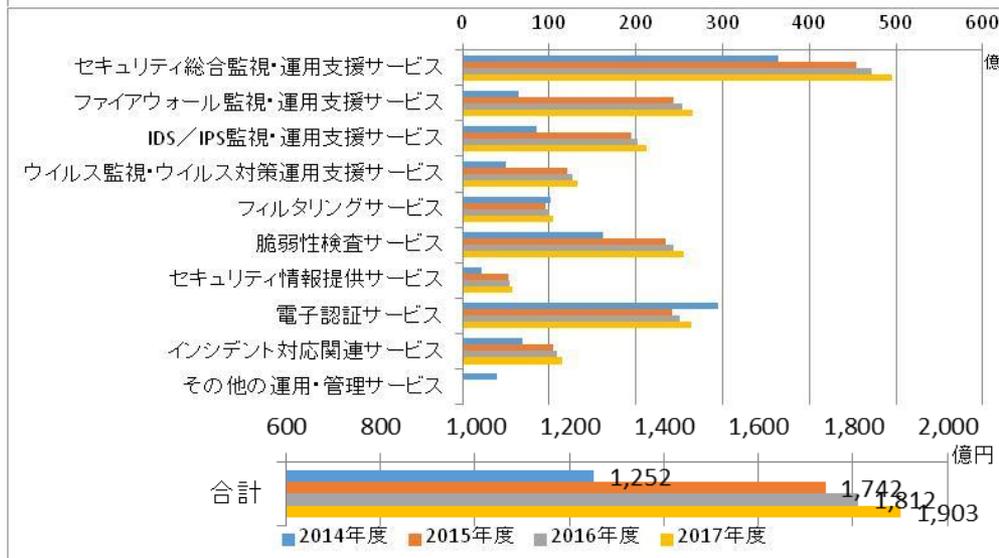
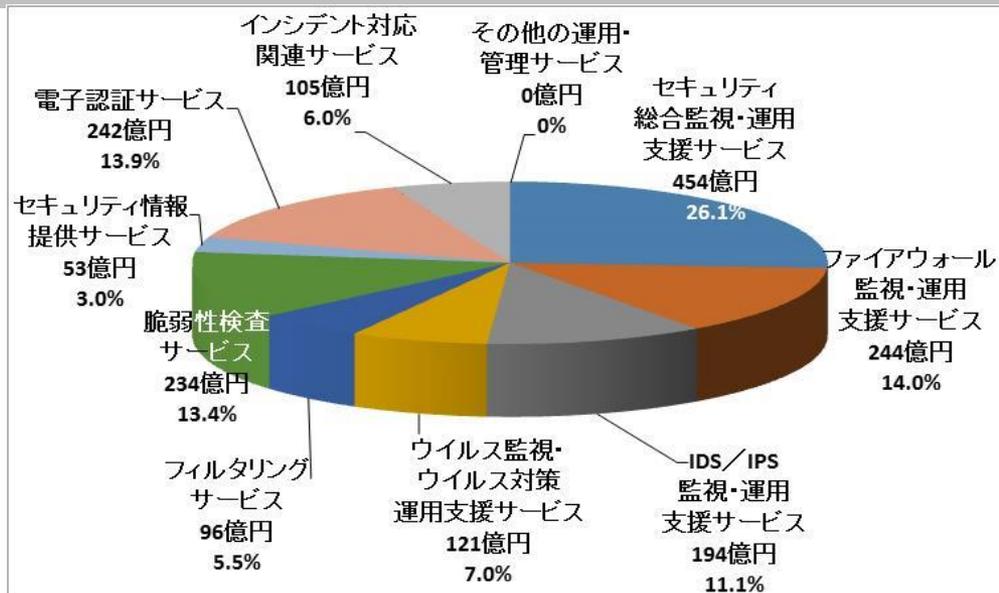
減ったというより
運用管理フェーズ
にシフトしたと
考えられる



• 2015年度は全体で前年度比15.4%減の1323億円

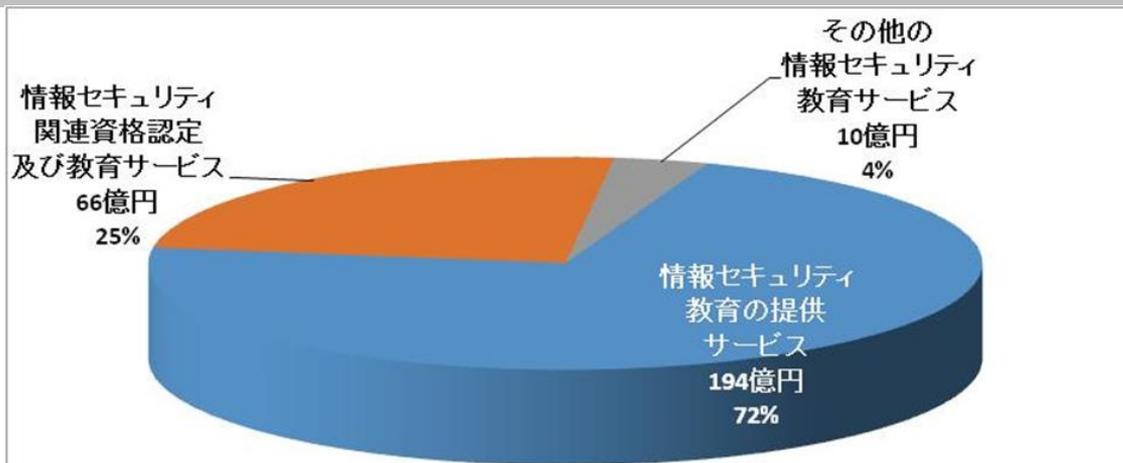
• 2016年度は、上昇へ転じるものの、まだ2014年の水準までは回復しないと予想

• サイバー脅威の対策強化のためのシステム再構築や、企業向けモバイル情報管理の需要も高まって、より高度なSI構築ニーズが当該市場の拡大を牽引

2015年
1742億円↑
2014年
1252億円

- ・前年度に対して39.1%増の1742億円と大きく伸びた
- ・サービス市場の中で最も高い伸び率を示している。中でもセキュリティ総合監視・運用支援サービスは、サイバー攻撃対策需要などより堅調な伸びが期待される
- ・脅威の特定・事故解析のためのインテリジェンスおよびアナリティクスの需要が今後高まる可能性

情報セキュリティ教育

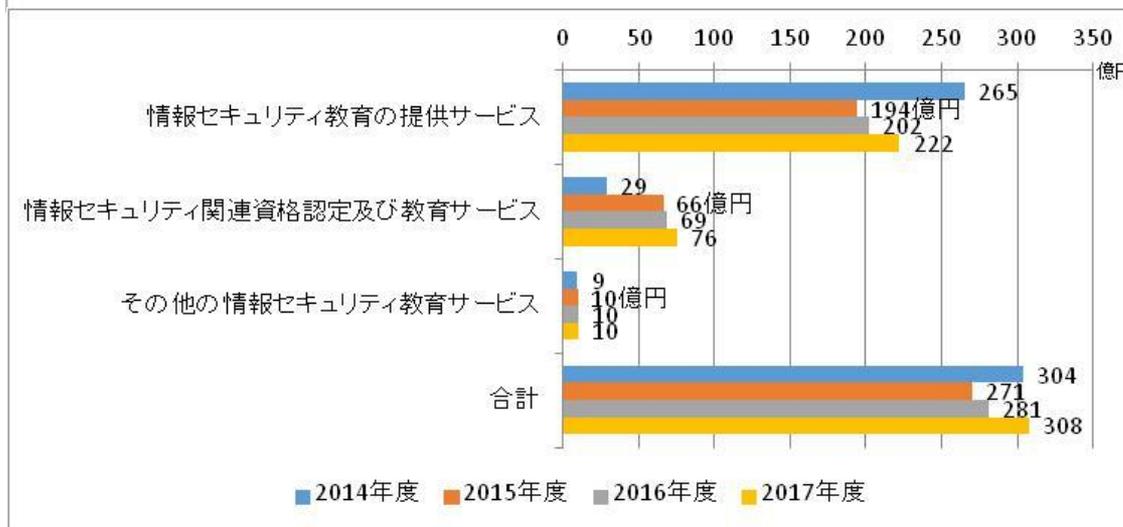


2015年

271億円

2014年

304億円



- 2014年度比 10.9%減
- 情報セキュリティ教育の提供サービスが26.7%減と大きく後退。
- 大企業の外部委託研修が内部に取り込まれた。
- 政府の資格制度の見直し・新設の前ということで、提供方法を見直している伸びとしては、一旦小休止と考えられる。
- 今後は、セキュリティ支援士などの新資格制度や新たな政府ガイドラインに対応した中小企業向け教育サービス提供業者が増え、再び300億円を上回ると予測。

2015年
118億円2014年
105億円

- 情報セキュリティ保険は、2015年で118億円と推測
- 情報セキュリティ事件・事故に対する経営リスクとしての認識が浸透してきて需要が拡大
- マイナンバー制度に対応した保険商品も増えていることから、今後も堅調に推移する模様

2015年度調査報告書作成メンバー

- ワーキンググループリーダー
木城 武康 株式会社日立システムズ
- ワーキンググループメンバー
菅野 泰彦 アルプスシステムインテグレーション株式会社
福岡 かよ子 株式会社インテック
玉川 博之 株式会社VSN
瀬戸口 広樹 サイエンスパーク株式会社
奥井 康文 大日本印刷株式会社
増田 聖一 三井物産セキュアディレクション株式会社
許 弘智 株式会社メトロ
勝見 勉 アドバイザー
蜂巢 悌史 サブスクライバー
森田 翔 サブスクライバー

A large, bold version of the JNSA logo, with 'JNSA' in black and the 'S' in red.

2017年 1月23日

JNSA2016年度

セキュリティ市場調査報告書（速報）

<http://www.jnsa.org>
sec@jnsa.org

END